



自分たちのまちは自分たちで守る！ 地域を守る消防団

問 本庁舎危機管理課（31 番窓口） TEL 0857-30-8032 FAX 0857-20-3042



9月10日は 「鳥取市防災の日」です



問 本庁舎危機管理課（31 番窓口） TEL 0857-30-8033 FAX 0857-20-3042

消防団はこんな活動をしています！



地域防災フェスタ（放水体験）



支え愛マップ作成



救急救命講習

鳥取市消防団とは？

鳥取市消防団は、市民により構成される本市の非常備消防機関です。7月1日時点で1161人の消防団員が各分団に在籍しています。みなさんが他の本業や学業を持ちながら、非常勤特別職の地方公務員である消防団員として責任感をもって活動しています。

「自らの地域は自ら守る」という精神に基づき、平時は市民への救急救命講習や消防訓練指導の実施、災害発生時は常備消防（東部消防局）と連携して火災や水害などの災害現場に出動し、最前線で現場対応を行っています。

一緒に活動しましょう

「消防」と聞くとどうしても火災ばかりをイメージしてしまいがちですが、消防業務はそれだけではありません。消防訓練では消火栓・消火器の取り扱いや住宅用火災警報器設置の普及啓発など火災予防に関する業務を担っています。

また、救急救命講習では心肺蘇生法やAEDの取り扱いなど救急に関する業務を担っています。市民のみなさんが予期せぬ火災や救急に対応できるよう、各種啓発や周知を行うことも消防団の重要な業務です。

神戸分団が全国大会に出場！

先日行われた県ポンプ操法大会にて、本市消防団神戸分団が見事優勝し、全国大会出場が決定しました。小型ポンプ操法の部での全国出場は本市初の快挙です。全国優勝を目標に日夜訓練に励んでいます。



写真所蔵：鳥取市歴史博物館



被害について

人の被害	死者・行方不明	重傷者	軽傷者
	1,210人	828人	3,032人
建物被害	全壊	半壊	全半焼
	13,295戸	14,110戸	299戸

出典：鳥取県「鳥取県震災小誌」

※当時の最大の震度階級は6で、震度7が導入されたのは昭和24年からです。

鳥取大地震の概要

発生日時・昭和18年9月10日 17:36
地震の規模・M7.2（最大震度6）
震源・鳥取県東部（鹿野吉岡断層）

昭和18年9月10日に発生し、未曾有の被害をもたらした鳥取大地震。その経験や教訓を風化させることなく、市民一人ひとりの防災意識の向上を図るため、そして災害に対する備えを充実強化するために、9月10日を「鳥取市防災の日」に制定し、毎年防災訓練や防災意識の向上に関する取り組みを実施しています。

9月10日は鳥取大地震の日

鳥取大地震が発生した日

鳥取大地震は夕食の時間帯に発生したため火災の被害が大きく、鳥取市中心部の古い町並みの大半が失われてしまいました。また夜には大雨が降り、消火を助けたものの、倒壊家屋の家財が濡れるなど雨の被害も甚大であったとされています。複合災害の恐ろしさと悲惨さが現代に伝わっています。

鳥取市総合防災訓練

時 9月10日（木）10:00～12:00

所 末恒小学校、青谷小学校

容 避難所解錠用鍵ボックスを使用した避難所開設訓練、防災関係機関装備品展示、模擬倒壊家屋救出訓練（末恒）、避難者輸送訓練（青谷）など

※防災行政無線や防災アプリなどによる訓練放送を10:00に実施

令和8年熊本地震への支援状況

本市では、この度の地震の被災地に対して支援を行っています。

●義援金箱の設置

本庁舎および各総合支所

●現地支援のための職員派遣

給水支援、防災証明支援、健康訪問等支援（熊本県八代市、氷川町）